



県は、11月3日、令和6年度沖縄県功労者表彰式を開催しました。
式典には、受賞者のご親族や関係者の皆さまのご出席のもと、各部門で功績のあった12名の方々に玉城デニー知事から表彰状と功労章を贈呈しました。



地方自治部門 **牧野 浩隆** 83歳

沖縄県副知事、沖縄県立博物館・美術館館長、琉球銀行常任監査役等を歴任し、沖縄振興計画の策定、米軍基地の整理縮小、本県文化・芸術の保存継承、「戦後沖縄経済史」の著作出版および多数の論文を出版するなど、本県の地方自治の進展と県勢発展に貢献した。



スポーツ振興部門 **仲村 清雄** 77歳

永年にわたりゴルフ競技者として選手権大会に出場するなど、第一線で活躍し、本県におけるゴルフ競技の礎を築いたほか、沖縄市体育協会副会長等として地域のスポーツ競技の発展に尽力し、ゴルフ競技の普及とスポーツ振興に貢献した。



地方自治部門 **嘉数 昇明** 82歳

沖縄県副知事、出納長、沖縄県議会議員、島田叡氏事跡顕彰期成会会長等を歴任し、コンベンションアイランド沖縄の形成、海外・県外との交流拡大、青少年の健全育成、島守の心の継承に尽力するなど、本県の地方自治の進展と県勢発展に貢献した。



社会福祉部門 **比嘉 富子** 82歳

子どもが安心できる場所を設けたいとの思いから、自ら保育所を開設・運営し、社会福祉法人勢理客福祉会の設立へと発展させ、地域の保育環境の向上や保育人材の育成に尽力するなど、本県の社会福祉の向上に貢献した。



教育部門 **中 山 勲** 86歳

沖縄県教育委員会委員長、精和病院院長、沖縄県精神保健福祉協会会長等を歴任し、専門的立場から教育行政に積極的に提言を行い、児童生徒の学力向上や教職員のメンタルヘルス対策等の諸課題の解決に尽力するなど、本県の教育の発展に貢献した。



社会福祉部門 **安次 嶺 馨** 82歳

永年にわたり県立病院医師として、救急医療、小児医療、研修医の育成に尽力し、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの初代院長として、小児専門医療を充実させるなど、本県の医療の発展と社会福祉の向上に貢献した。



文化・学術部門 **安次富 順子** 81歳

琉球料理・沖縄の食文化研究家として、琉球料理保存協会設立に関わり、琉球料理の研究と普及、琉球王朝菓子の再現、ブクブクー茶の復元、琉球料理伝承人の指導・育成に尽力するなど、本県の食文化の発展に貢献した。



社会福祉部門 **宮里 敏 男** 82歳

宮古島地区交通安全協会会長、沖縄県交通安全協会評議員として、永年にわたり地域における交通安全運動に従事したほか、交通安全標板や宮古島まもる君の設置など、創意工夫を凝らした交通安全活動を展開し、本県の社会福祉の向上に貢献した。



伝統芸能・工芸部門 **渡久地 美代子** 87歳

永年にわたり琉球舞踊研究所を運営し、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者として、組踊の学校公演開催や各種教材の編成など、若い世代への琉球舞踊の普及・伝承に尽力するなど、本県の伝統芸能の発展に貢献した。



観光振興部門 **佐久本 武** 80歳

瑞泉酒造株式会社取締役、沖縄県酒造組合連合会会長として、泡盛業界の発展に寄与するとともに、那覇市観光協会会長、沖縄観光コンベンションビューロー理事を歴任し、観光客の受入体制の強化に尽力するなど、本県の産業および観光振興に貢献した。



スポーツ振興部門 **大城 武 則** 85歳

永年にわたり剣道部監督を務め、高校生の指導・育成に尽力し、国体や全国大会で優秀な成績を残したほか、沖縄県剣道連盟会長等として、ねんりんピックや全国大会を開催するなど、本県における剣道の普及・発展とスポーツ振興に貢献した。



平和・人権推進部門 **照 屋 恒** 84歳

学童疎開船対馬丸の生存者として長年にわたり複雑な思いを抱えながら、残された者として語り部となることを決意し、対馬丸や戦争に対する自らの思いや体験を次代を担う世代へと伝える活動を行うなど、平和教育の推進に貢献した。

問い合わせ 秘書課 電話：098-866-2080 FAX：098-860-1453

